

第 72 回全国植樹祭甲賀市推進協議会 設立趣旨

甲賀市は、鈴鹿山脈や信楽の山々を擁し、琵琶湖・淀川水系の重要な水源地であるとともに、^{いにしえ}古より東大寺の経営する「甲賀杣」がおかれるなど「甲賀ヒノキ」に代表される良質の木材の産地でもあり、古くから林業・木材との関わりが深いところです。

また、「紫香楽宮」や“日本遺産”に認定された「甲賀忍者」・「信楽焼」など歴史と豊かな森林・山々と密接に関連する魅力ある観光資源の宝庫でもあります。

このような中、昨年 8 月に開催された公益社団法人国土緑化推進機構（以下「機構」という。）の理事会において、令和 3 年（2021 年）開催の第 72 回全国植樹祭の滋賀県開催（2 回目）が正式決定されるとともに、昨年 10 月に実施された機構と滋賀県知事による開催地決定の協議により、本市の「鹿深夢の森」が式典会場として正式決定されました。

一方、この全国植樹祭は、四大行幸啓の一つでもあり、5 千人規模の参加者で開催される大会でもあることから、甲賀市の魅力を全国に向けて発信できる千載一遇の機会でもあります。

このようなことから、森林・林業の役割や意義に対する市民の理解と関心を高め、加えてこれまで取組んできた上下流連携の森林づくりや、歴史・文化・産業等甲賀市の魅力を発信し、オール甲賀で全国植樹祭を成功に導くとともに、全国植樹祭の経験を将来の森林づくりや地域づくりに活かしていくため、市内の関係団体の参画のもと、「第 72 回全国植樹祭甲賀市推進協議会」を設立するものです。

令和元年 5 月 28 日

甲賀市長 岩永 裕貴